



2017
VOL. 65

福島県男女共生センター広報誌
未来館 *miraikan news*
NEWS


Contents

未来館フェスティバルシンボルイベント

深澤真紀さん講演会

自分をすり減らさない”ほどほど”の生き方

WLBに取り組む企業



深澤真紀さん講演会

テーマ:「自分をすり減らさない『ほどほど』の生き方」
日時:平成29年9月2日(土) 13:00~14:30

人気コラムニスト・コメンテーターの深澤 真紀(ふかさわ まき)さんをお招きし、自分の生き方を肯定することや、こころが少しホッとするお話をいただきました。

福島への思い

今日は福島に呼んでいただいてとてもうれしいです。私自身は東京生まれで、東京や埼玉で育ちましたが、林間学校や遠足や合宿などで福島に来ることがとても多かったのです。大学を卒業する前、いわき市の自動車学校の合宿で免許を取りました。福島出身の友人も多く、いろいろな思い出のある福島なので、震災と原発事故は本当にショックでした。

私は「とくダネ!」などメディアでコメンテーターもしていますが、メディアで発信する側として、3月11日にあつ

た震災と原発事故のことを忘れず、発信していきます。

今日は「自分をすり減らさない『ほどほど』の生き方」がテーマのゆるい内容でお話しします。先にお断りしないといけないのですが、普通の講演の場合「皆さん一緒に輝きましょう」のような、すてきな話を聞くものと思うのですが、今日はそういうお話ではありません。私の「偏見」をお話しすることになるのですが、そういう考え方もあるのかと、話半分にして聞いていただければと思います(笑)。

「草食男子」に込められた真の意味

私は「草食男子」の名付け親です。この言葉は多分、良くない意味として使われていると思いますが、私自身、全くそういう意図はなかったのが本当に困っています。

この言葉が生まれたのは2006年。もう11年前ですね。その頃私は編集者として仕事をしていました。私は1967年生まれで「ザ・バブル世代」です。ちょうど芸人の平野ノラさんが演じているさらびやかな女性も多い時代でしたが、私はオタクで地味な大学生でしたのでディスコなどにはほとんど行かず、違和感を感じることの多い時代でもありました。そんな時代の若者と今の若者とはいい意味でだいぶ違うなと思って、「草食男子」とか「肉食女子」という言葉を名付けたのです。

「草食男子」は恋愛やセックスにガツガツしません。私たちの世代は、例えば男子がバンドをやるのは音楽が好きだからではなくモテたかったからですが、今は好きで音楽をやる男子が多いのです。

このことを2006年にネットマガジンの「日経ビジネスオンライン」に、「ガツガツしない精神性の高い若者が増えてきた」、「男らしさや女らしさにあまりこだわらない優しい若者が増えてきている」と書いたのですが、読者層が中高年の方が多いせいか、その時はあまり話題になりませんでした。ところが、

2007年に女性誌が取材に来て、「私たちがモテないのは草食男子のせいである」、「草食男子を攻略せよ」とか私の思いとは異なるイメージでの特集が組まれたのです。

その当時というと、2008年にリーマンショックが起これ、車やビールをはじめ、あれもこれも売れない状況だったため、経済界の人たちから「モノを買わないのは草食男子のせい」と犯人扱いされ、名付け親と言うことで私は経営者から文句を言われたりもしました。こうして言葉が広まり、私の意図とは違って「元気がない、消極的」という意味で「草食男子」は2009年の流行語大賞トップテンに入ってしまったのです。

たしかに今の若者は見栄を張るための「見栄消費」をしません。私たちの世代は、時計ならロレックス、車ならBMW、ブランド品ならグッチやエルメス、そういうものを買うことが目標だった人が多かったのですが、今の若者はスマホがありますから時計をしませんし、日本の軽自動車はとてもよくできているので、車はこれで十分と思っています。また、1,000円でこれだけお得なランチが食べられるなどコストパフォーマンスを意識する「コスト消費」とか、家や車などをシェアする「シェア消費」、自分の趣味にお金をかける「オタク消費」、バーベキューなどみんなでする経験などモノではない「コト消費」をします。

“今どきの若者は…”とりたい！?

少子高齢化という話はよく耳にされると思いますが、どれだけ子どもの数が減っているかご存じでしょうか。第二次世界大戦後、子どもが一気に増えたベビーブーム時代の1950年頃には270万人の子どもの生まれています。この世代がいわゆる団塊の世代です。このペースで子どもが生まれると日本の人口が2億人になってしまうということで、出生率を下げようと「家族計画」運動がありました。この影響もあって1980年には生まれる子どもが150万人まで減りました。ところが、そこからバブルがはじけたり経済が悪化して減少に歯止めがかからなくなり、2015年には子どもが100万人しか生まれていません。

また、今の若者は恋愛しないというニュースをよく聞きますが、約3,000人の若者を対象に結婚観や性について聞いている厚労省の「出生動向基本調査」を見ますと、独身者に対して「婚約者はいますか」との質問に、バブル期の1987年は2.9%、2015年は1.6%の人が婚約者がいると回答しています。また、「恋人として交際している異性はいますか」との質問については、1987年は19.4%、2015年は19.7%でした。つまり、今も昔も日本人はあまりモテなくて、2割くらいしか彼氏や彼女がいないのです。

では、どうして「交際中の異性なし過去最多」というニュースになってしまうのかというと、「婚約者はいますか」、「恋人として交際している異性がありますか」の次に「友人として交際している異性がありますか」という質問項目があります。この質問には1987年の23.6%の若者が「いる」と回答しています。なぜならこの時代は交際を断るときに「友達としてなら」と婉曲的に言うことが多かったのです。そのために、約4分の1の人が振られているのに「友人として交際している」と思っていたのです。そんな常套句を知らない2015年の若者からすると「友人として交際していたら、ただの友人じゃないか?」と5.8%しか「いる」と答えず、「交際していない」が1987年の48.6%から2015年には69.8%に増えてしまっていて、これだけを見ると交際していない若者が5割から7割になって大変なことだと思うんですが、「友人として交際している異性がある」という今となっては謎の質問があるために、このデータはあまり使えないのです。取材されるたびにこのことを新聞やテレビの人に言うのですが「中高年は、若者がモテないというニュー

スを喜ぶんです」と言われ、そこは無視されてしまうのです。一方、性経験の有無を聞く質問項目もあり、「経験無し」と答えた若者は、1987年は43%、2015年は42%で変わりません。なのに、2015年の時は「今の若者は4割以上も童貞・処女だ」と話題になりました。1980年代も同じデータだったことを知らずに今の若者をたたいているのです。

イギリスのコンドームのメーカーが、世界中のカップルを対象に年に何回セックスをするかを調査したところ、日本は一番少なくて年に50回、つまり週1回です。最多はギリシャで年140回でした。日本のほぼ3倍です。では、出生率は日本の3倍かという約1.5人です。セックスの回数と出生率は直結しません。ギリシャは経済が破綻しているように、日本も経済的な理由で子どもを持っていないのです。

また、日本では私たち上の世代は、経済状況がよかったこととお見合いなど社会の中に結婚しやすいシステムができていたことも婚姻率や出生率が高かった理由です。最近のデータでは、正社員の20代男性の25%は結婚していて、33%に交際相手があります。約6割に妻か恋人がいます。ところが、非正規社員の20代男性は4%しか結婚していませんし、交際相手がいる人は16%。妻か恋人がいるのは約2割です。非正規の男性は本当に結婚や恋愛に恵まれないんですね。

日本以外に少子化が進んでいる国は意外ですがドイツです。またイタリアや韓国もそうです。ドイツ、イタリア、韓国、日本に共通するのは「家庭が保守的で女性の生き方に厳しい」ことです。「今の若者が子どもを生まないのは女性が働くようになったからだ」と言う人がいます。実はこれは逆で、先進国で女性が働いていないほうが子どもが生まれないんです。なぜなら教育費がとても高いから、女性が働かないと、子どもを望めないのです。また日本の女性は、一度正規社員を辞めてしまうと、もう一度正規社員に戻ることが非常に難しいです。

未婚や少子化の原因は「草食男子」や「働く女性」ではないということです。「若者の結婚離れ」は、企業が「今度採用する若者や女性は年収は200万円の契約社員でいい」としてしまいうように、お金が若者のとこにこない「お金の若者離れ」が原因の一つなのです。

“今どきの若者”はおとなしい

今の若者というと「ゆとり教育」を思い浮かべるかもしれませんが、これは子どもが望んだことではなく大人が決めたことです。覚えていらっしゃると思いますが、1970年代から1980年代は、校内暴力とか家庭内暴力とか、子どもが荒れて暴れた時代でした。私が育った東京や埼玉もそうでしたし、福島でもそうだったと思います。とにかく子どもたちが大変荒れていて大問題になり

ました。当時、子どもが暴れる理由を考えて、文部省は「詰め込み教育が悪いから、これからは「ゆとり教育」にしよう」となったのです。実際にそれから校内暴力は減っています。

なお、殺人など凶悪な事件が報道されると「最近の日本は物騒だ」との声もよく聞きますが、実際には殺人発生率は戦後最低を更新し続けています。日本は世界で最も人が殺され

ない国です。1954年の人口は約8,800万人で、年間2,000人あまりが殺されています。一方で、2013年の人口は約1億2,800万人で、年間363人が殺されています。人口が約1.5倍になったのに殺された人数は約6分の1です。これは世界的にも有名な事例で、どうして日本の若者は人を殺さないのかと海外の研究者が取材に来るほどです。

また、無謀な運転による若者の死亡交通事故が激減していて、運転手が16歳から24歳の人の場合の死亡事故のうち、スピード違反が主因になったケースは10年前の5分の1です。今の若者は、飲酒運転とかスピード違反とか、「盗んだバイクで走り出したり」とか、そういうことをあまりしないわけですね。非常にルー

ルを守ります。今、交通事故を起こすのは、残念ながら高齢の方が多くいます。これは、昔だったら車に乗らなかった高齢の方が、今は車に乗っていることも関係しています。

そして、これは本当に残念なことですが、若者の死因1位が自殺です。これは日本だけで、ほかの国の若者の死因の1位はほぼ事故死なんですね。ちなみに、アメリカの若者の死因の2位は殺人です。例えばアメリカで「若者が死んだ」と聞くと「殺されたの?」と思う人が多いそうです。日本もアメリカも若者にとって特殊な国なのですね。そして、若者の貧困率が上がっているのに、若者の犯罪が減っているのは日本だけです。でも、日本は若者の自殺が増えてしまっているのです。

若者へのアドバイスとつき合い方

私の若者へのアドバイスは2つあります。1つは、「他人の言葉や考えたことをたくさん知りなさい、そしてそこから自分に合ったものを選びなさい」ということです。よく「自分の頭で考えろ」とか「自分の言葉で話せ」とか言いますが、確かにいい言葉ですけど、1人の頭で考えることには限界があります。他人の考え方を学ぶことが大事なのです。

もう1つは、「いろいろな考え方や生き方を知ること」です。自分とは思想が全く違う人、宗教が違う人、自分とは違う性的指向の人たちと出会うことです。そうすると、簡単に「男ってこうだよ」「女ってこうだよ」とか、「人間ってこうだよ」と言えなくなります。それによって、他者を尊重し、自分を尊重することにつながります。

また、私たち中高年は若者とどうやってつき合ったらいいのでしょうか? 私たちは心のどこかで「昔は、昭和はよかった」と思っているんですね。でも、昭和30年から50年の新聞を読んでみると、大体が事故や事件の記事ばかりです。新聞の読者投稿欄にはよく「日本は終わった」と投稿されるのですが、これはどの時代にも言われることです。

中高年の皆さんには、自分の好きなものや生き方を若者に伝えていただきたいです。若者に対して「それはくだらない」と

文句ばかり言っていないですか? それでは楽しくないですよ。私は旅行が好きでよく出かけるのですが、旅先での楽しいエピソードを学生に話すと「先生は楽しそうだ」と思って聞いてくれます。また、私はアニメとか特撮が大好きで、仮面ライダーなどのフィギュアも買います。先日は4万円もするマジンガーZの超合金を買いました。ちなみに、今つけているこの指輪は5,000円なのですが(笑)。マジンガーZのために4万円出したと学生に言うと、少し安心するようです。学生からしたら、50歳過ぎたら辛い毎日があると思っていたのに、この先生は子どもみたいな趣味で楽しく生きている。そう思うと将来への希望が持てるみたいです。

失敗談を伝えることもいいと思います。私は転職を何度かしていますが、ある会社で「君はうちの会社にいないから」とマンガに出てくるような感じでクビになったことがあります。そのことを学生に話すと「どうしてクビになったんですか?」とすごくうれしそうなんです。そして、そこからどうやって立ち直ったかを聞きたいと言います。

若者へのダメ出しばかりでは何も生まれられないわけですから、とにかく彼らを信じて、彼らに頼ってチャンスを与えることが大事です。

ほどほどの生き方を～幸せより機嫌よく～

さて今、「女性活躍」と言われていますが、日本でその実現が難しいのは、女性に対して家事も仕事も、育児も介護もやってほしい、となっているからです。また、日本の女性は世界で一番痩せています。最近では理想とされる体重は約40キロで、痩せすぎです。女性が自分をメンテナンスするためにはダイエットすることではなく、処世術を身につけることです。皆さん、生きてると嫌なことがいっぱいあると思いますが、それに対してどう向き合うかを身につけることです。

「ほどほど」というのは後ろ向きなことではないのです。

私もこの年になって、「様子を見る」、「無理をしない」、「あきらめる」はいい言葉だと思うようになりました。そして、よく言われる「人生の出来事に深い意味があること」も、実はほとんどありません。悪いことが起こったら、反省してもいいし、逃げてもいいし、自分の考えがブレても、人の考えに流されてもいいと思います。私たちは自分の気持ちを押し込んで、カッコいい言葉をつい使いたくなりますが、「つらかったです」、「本当に嫌でした」と言ってもいいんです。

そして私たちは「努力」という言葉が好きですが、それを「工夫」に言い換えてはいかがでしょうか。「努力」は報

われないとがっかりしますが、「工夫」だとそこまで考え込みません。さらに「才能」ではなく「適性」の有無を考えることが大事だと思います。私たちは歳を取ってもなお、自分を変えようとか、成長しようとか、短所をなくそうと思いがちなのですが、それはやめたほうがいい。なぜなら、人間の短所と長所はだいたい裏表だからです。だったら長所をなるべく生かして、短所をなくすのではなく、補っていくしかないですね。

また、失敗や悪い経験を前向きに捉えすぎてもいけません。例えば、暴力的な男性とつき合う女性がいますよね。そういう女性は、ひどいことをされてもすごく前向きに捉えてしまいがちです。「あの人は殴るけれどもたまにケーキを買ってくれるの」、「あの人はお金にはだらしないけれども殴らない」とか、「彼に殴られて女として成長した気がする」なんて聞いたら、何を言っているのと思いますよね。そんなふうの前向きに捉えすぎていると、また殴る男性が寄ってきます。だからこそ前向きにならずに、「殴る人とはつき合わない」と決めた方がいいです。そして私たちは、自分に起こったトラブルの原因について、やたらと時をさかのぼって考えてしまい、ひどいときは数十年前の思い出にたどり着いたりします。でもそれを言い出したら、極端なことを言えば生まれなければよかったということになりますよね。だったらトラブルの犯人探しをしないほうがいいのです。疲れるだけですから。

とにかく自分を大事にすることです。それは自分勝手という意味ではありません。そして辛いことがあった時には「やけ酒」や「やけ食い」よりも「ふて寝」「ふて風呂」をおすすめします。「やけ酒」「やけ食い」は身体に悪いですが、例えば午後3時あたりから「ふて寝」「ふて風呂」をすると、後に爽快感があります。

最初にも申し上げましたが、今日お話ししたことは、自



分が気楽に生きたいがための私の「偏見」が入っています。でも、こういう「偏見」がたくさんある方がいいんです。様々な生き方がある方がいい。いろいろな考え方を否定しないことが大事です。

私は今の社会はそんなには悪くないと思いますが、悪くなっていることは「非寛容」なところでしょうか。保育所の子どもがうるさいからと6メートルの壁をつくる話を聞きました。刑務所の壁でも5メートルですよ。最近、「自己責任」という言葉もよく言われますが、うまくいかない時は誰にでもあるので、「お互いさま」の精神でいいじゃないですか。私たちはベストを尽くそうとしますが、自分にとってベストの社会があるとして、それはもしかしたらほかの人にとっては生きにくい社会かもしれません。ですから、自分にとってのベストよりも、みんなにとってのグッドや「まし」という社会がいいと思います。

皆さんにおすすめしたいことは、「幸せ」になることよりも、「機嫌よく」生きることです。「幸せ」を感じるためには、自分の周りに不幸せな人たちが必要になりますが、自分が「機嫌よく」なるためには機嫌のいい人に囲まれることが一番です。だからみんなが機嫌よくなれるんですね。ですから、皆さん、明日から「幸せ」を捨てていただいて、「機嫌よく」生きてください。

今日はどうもありがとうございました。

講師プロフィール



深澤 真紀 (ふかさわ まき) さん

獨協大学経済学部特任教授、コラムニスト。
企画会社タクト・プランニング代表取締役社長、日本文藝家協会会員。

1967年東京生まれ、早稲田大学第二文学部社会専修卒業。在学中に女子学生のためのミニコミ「私たちの就職手帖」副編集長をつとめる。社会科学系、サブカル系、IT系、生活系など複数の出版社で編集者をつとめ、1998年企画会社タクト・プランニングを設立、代表取締役社長に就任、現職。

2014年、中央大学文学部兼任講師と淑徳大学人文学部客員教授に就任。2017年、獨協大学経済学部特任教授に就任、現職。2009年「草食男子」で流行語大賞トップテンを受賞。「とくダネ!」「大竹まことゴールデンラジオ」のレギュラーコメンテーターもつとめる。

未来館フェスティバル 2017

4階

未来館フェスティバル 2017 は、平成 29 年 9 月 2 日～3 日の 2 日間行われ、約 4,300 人の皆様にご来館いただきました。シンボルイベントとして深澤真紀さんの講演会や、未来館ネットワークカフェ、認知症介護セミナー等様々なイベントを開催しました。

今回は、イベントを一緒に盛り上げてくださった県民参加企画参加団体の活動の様子を紹介いたします。

県民参加企画紹介

1階



屋台「みらい」
(ライブキッチン)
おいしいものがたくさん!!



水の枝クラフトづくり
(NPO 法人福島県もりもり案内の会)
自然からの恵り物でかわいらしい小物づくりを体験。



ストリートダンスパフォーマンス
(パラダイス BOX NEO)
子どもたちの元気いっぱいダンスでした。



人権啓発
(福島人権擁護委員協議会二本松支部会)
あゆみちゃん、まもるくんと一緒に人権について考えました。



ダンス披露
(コンフルエンシアジュニア)
川俣町の子どもたちによる華やかなステージ。



知ろう! 活かそう! 福祉用具
(福島県男女共生センター)
血行が良くなる「タオル体操」を紹介。



一店製品会 コミュニティコーナー
(二本松商工会議所一店製品運動推進委員会)
魅力ある逸品を紹介しました。



談話「陽顔こわい」
(新福島芸術倶楽部)
たくさんの方に落語をお聞かせいただきました。



若玉と若テマリウムの体験教室・販売、陣羽織の販売
(若玉房 8 匹のねこ)
小さくてかわいい昔の世界へようこそ。



福祉用具の普及促進
(一般社団法人日本福祉用具供給協会東北支部福島ブロック)
体験して福祉用具をもっと身近に!



高齢社会の中で、隠しワヤを探る ～認知能力フェの調査から～
(一般社団法人国際女性教育研究会福島県支部)
認知能力フェについて意見交換を行いました。



バレー剣をプレゼント! ～バレーアート～
(新福島芸術倶楽部)
風船で剣やお花づくりにチャレンジ!



チャリティーバザー
(二本松市婦人団体連合会)
毎年大人気! 盛り出し物がたくさんあります。

2階



花のリースづくり
(サンフラワー)
体験をとおして、参加者のみなさんと交流することができました。



未来館スタンスラリー
(福島県男女共生センター)
ショウちゃんを探して、未来館を探検!



スマートボールゲーム大会
(協賛: 二本松商工会)
子どもから大人まで、たくさんの方が楽しめました。



イッスク・イカガ! 茶路
(新道宗廟交流福島支部伊藤宗正社中)
安達高校茶道部のみなさんと一緒に心を込めておもてなしをしました。



障がい者施設製品・UD 製品展示販売
(NPO 法人シャローム)
かわいい巾着やお菓子、UD 製品がたくさんありました。



未来館ネットワークカフェ
「わたしらしくふみ出すためのフチ交流会」
(福島県男女共生センター)
様々な方と楽しく交流し、元気にふみ出すヒントが見つかりました。



ハンドメイド・ワークショップ
(Mori のくまろ工房)
がよやお花の小物など、自分だけの作品ができました。



震災から6年を振り返る ～女性相談に寄せられる悩みとは?～
(NPO 法人ウイメンズベースふくしま)
電話相談の内容から見える女性の困難等を表示、報告しました。



時代ついでに～戦前・戦中・戦後の女たち～
(前の会、ふくしま県女性「9 表+24 表」の会)
それぞれの時代の女性について語り、次世代に伝えるための発表を行いました。



Adachi ラボ～君も博士になろう～
(安達高校 自然科学部)
人工イクラ作り、放射線の透過したあとを見る体験に、ビックリ!



楽しく学ぼう! ユニバーサルデザイン
(福島県男女共生センター)
ユニバーサルデザインについてクイズを通して、学びました。



買い物から社会と生活を変えよう
(福島県消費者団体連絡協議会)
「放射能による風評等について」の調査結果、エシカル消費等について発表しました。



女性たちの輪・種・話の中心に～新しいまちづくりを考える～ Future
(県北地区若者の会)
各地域の会員の活動紹介。女性の社会参加について考えました。



ふくしま農業女子ネットワークの取組紹介
(ふくしま農業女子ネットワーク)
活動を紹介し、農産物を加工したオリジナル商品を販売いたしました。



手作りの品のワークショップと販売
(しょころ)
温かみのあるアクセサリーや毎日持ちたくなるかわいらしいバッグが並びました。

3階



人生のパートナー探しを応援します!
「縁結び」出陣啓発会



人生のパートナー探しを応援します!
「縁結び」出陣啓発会



大盃ふるまい
(二本松市婦人団体連合会)
今年も大盛況! そろめんとキョウワのお届け物がふるまわれました。



介護を知って! ～未来～
(社会福祉法人福島県社会福祉協議会二本松事務所)
車いす、フィットケア、介護支援ロボットを体験しました。



図書室おすすめ本展覧会
～あなたが読みたい本はどれ!?～
(福島県男女共生センター)
センター職員がおすすめする本の中から、読みたい本に一票投じていただきました。



孫子彩 (まごころ) カフェ
(NPO 法人まごころサービス福島センター)
活動内容の紹介や手作り小物の展示・販売しました。

9月3日(日)のイベント



認知症介護セミナー①講演会「確信がもたらされる福祉社会を目指して」
②認知症カフェ
(社会福祉法人福島県社会福祉協議会)
新しいケア方法のスマニエードを学ぶ講演会や認知症カフェの運営法について話し合いました。

WLB ワーク・ライフ・バランスに 取り組む企業

ワーク・ライフ・バランス（以下：WLB）について考えるきっかけになるよう、WLBに取り組んでいる企業をご紹介します。
今回は、いわき市のスパリゾートハワイアンズを運営する常磐興産株式会社取締役執行役員スパリゾートハワイアンズ総
支配人の下山田敏博さんにお話を伺いました。

WLBに取り組むきっかけ

平成 25 年に井上社長が就任したことがきっかけの一つです。井上は、WLB に関する取組が企業にとって必要であり、重要であるとの意識を持っていましたので、当社でも取組を行おうと考えておりました。また、社会全体が WLB や女性活躍にクローズアップされてきた時期でもありました。

平成 26 年に、今まで男性ばかりだった管理職に数名の女性を抜擢しました。ぜひ、女性たちに活躍して欲しいとの思いで管理職に登用しましたが、抜擢した女性管理職も、女性管理職の部下になった社員たちも不安や戸惑い、不満がありました。ですが、徐々に職場環境にも慣れ、働きやすい職場に変わっていったことで、理解を得られたのだと思います。その後も多くの女性が管理職に就いています。

平成 28 年には、管理職に占める女性割合を 15%以上、リーダー職を含め 30%以上を目標とした行動計画（計画期間：平成 28 年～30 年）を策定し、WLB を含めた取組を行っているところです。

WLB に関する具体的な取組

WLB に関する取組を行うためには、業務の効率化と人事制度をセットで考える必要があると思います。当社では業務改革室を設置し、IT を導入するなど仕事の効率化を図り、計画的な人材の採用と育成の仕組みを構築しました。

平成 28 年に策定した行動計画では、人材の育成のため、階層別及び管理職候補研修を定めて、実施しています。その他、働く環境の整備として、退職者には退職時と同じ条件で再雇用するジョブリターン制度や年間休日の増加、女性社員たちから要望があった半日休暇の新設、契約社員の無期雇用制度の導入等の取組を行っています。

また、WLB の取組の一環として、社内の託児所の機能充実、福利厚生面の制度を充実させる等、女性が活躍できる職場環境の整備を行っておりますが、男性も働きやすい職場になってきていると思っております。

WLB に関する取組の効果

スパリゾートハワイアンズには、年間約 140 万人以上のお客様にお越しいただいています。サービス業ですので、土日祝日は忙しく、休みを取りたくても取れない状況でした。ですが、計画的に社員の休日を増やし、有給休暇を利用しやすくするために、半日休暇を導入し、休みを取りやすい環境になってきています。

現在では 20 名を超える女性管理職がおり、管理職の会議では女性たちが積極的に発言し、以前とは違った雰囲気になってきました。また、各部署の女性管理職が女子会を行っており、時短勤務社員や契約社員も含めた女性たちのアイデアや意見を出しやすい環境もできつつあり、実際に商品化され、販売している商品もあります。こうした女性スタッフに刺激され、男性スタッフの意識も変化してきており、相乗効果が随所に表れてきています。

今後、人材の確保はより困難になっていきます。企業は WLB に関する制度をもっと充実させていかなければならないと思います。制度を作って運用し、問題点があればマイナーチェンジをしながら、働きやすく、働き続けられる職場環境づくりを整える必要があると考えています。



お話を伺った下山田さん

常磐興産株式会社スパリゾートハワイアンズ

住 所：いわき市常磐藤原町藤平 50


事業内容：観光・宿泊・リゾート業

従業員数：1,039 名（うち女性 656 名）平成 29 年現在



※当センターに対する御意見・御質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

(公財) 福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター（女と男の未来館）
〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目 196-1
TEL (0243)23-8301 (代) FAX (0243)23-8314
ホームページアドレス：http://www.f-miraikan.or.jp
メールアドレス：mirai@f-miraikan.or.jp

女と男の未来館 

表紙のコンセプト*第 65 号「きょうだい」：きょうだいはどんなに離れていても、仲が良くても悪くてもどこかで互いを気にしている奇妙な関係だと考えます。上下に配置することでそれぞれの世界があることを表現していますが、視線は何となく相手の方を向いていて、様子を伺っているというイメージです。男・女である以前に皆それぞれひとりの人であるということ表現するため、様々な形の顔をしています。